

長野赤十字病院

臨床研修センターニュース

No. 15 2017. 3. 28 発行

臨床研修評価の更新をいたしました

臨床研修センター長（副院長） 和田 秀一

平成 29 年も既に 2 ヶ月が過ぎようとしています。このところ雪模様が続き、インフルエンザも猛威を振るっており、病院は対策に大変です。

この 1 月 20 日、当院は卒後臨床研修評価機構による訪問調査を受けました。平成 25 年 1 月に初めて臨床研修評価を受審し、4 年間にわたる認定をいただきました。今回はその更新になります。平成 16 年に始まった初期臨床研修も 12 年間に過ぎました。この間、5 年ごと 2 回の見直しがなされ、現在も特に臨床研修の到達目標や評価について厚労省の臨床研修部会の下にワーキンググループが作られ、次回の制度見直しに向けて検討が続けられています。今回の臨床研修評価では、シミュレーション教育と医療安全の強化を求めるインシデントレポート提出数などが最も問題になりました。そして、2 月 28 日臨床研修評価の更新として今回も 4 年間の認定をいただきました。受審にあたっては研修協力施設の先生方をはじめ、病院内関連部署、研修医の皆さん、指導医の先生方に大変ご尽力をいただきました。御礼申し上げます。

さて、今年度 15 名の 2 年目研修医（独自研修医 13 名、信州大学とのたすきがけ 2 名）が初期臨床研修を修了いたします。3 月 24 日に修了式が予定されています。ご指導いただきました諸先生方に深く感謝致します。今回、指導医より各研修医への言葉などを記載した小冊子を作成し、修了式に各研修医に渡す予定です。今年度からの試みですが、今後も継続する予定です。今年度は研修医の結婚ラッシュでした。2 年目研修医の 15 名中 9 名が結婚致しました。研修だけではなく人生の大事なステップを当院から踏み出してくれることは大変おめでたいことだと思います。研修医諸君の今後の発展を祈念します。

4 月からは 1 年次研修医 13 名が研修を開始します。新しい仲間と一緒に学べることは大変楽しくありがたいことだと感じております。引き続き、変わらぬご指導をお願い申し上げます。



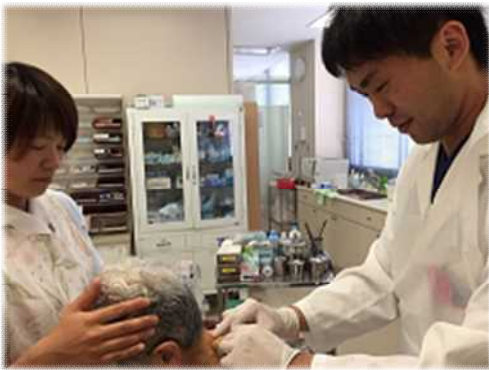
<NPO 法人卒後臨床研修評価機構 認定証>

～ 地域医療研修情報 ～

長野市国保 戸隠診療所長（前 当院消化器内科）今井隆二郎先生より、研修医の地域医療研修の様子の写真を提供いただきました。研修に行かれた中野研修医のコメントと合わせご紹介します。



今井先生



中野研修医



こんにちは、研修医の中野です。2016年4月に地域医療研修として戸隠診療所を訪れました。当院は三次医療機関であり普段は診療所から紹介されてきた患者様の診察にあたり研修をしてきました。紹介元である診療所が、どういった場所にあるかを知ることは僕達にとって大変勉強になります。今回の研修を通して感じたことは、診療所は病気を治すことももちろんですが、いかにして地域住民の健康を守るかというのが重要な役目だということです。「高血圧の薬を飲み忘れてしまってね」と話される患者様がいらっしゃいました。でもそうやって2ヶ月に一回顔を出してくれる。そういった温かい患者様との関係性が戸隠診療所にありました。今井先生、前任の佐々木先生がつくりあげているものと思います。地域医療を経験するよい研修となりました。

上野研修医 診療の様子



地域医療指導医の先生方、次年度も御指導
よろしく願いいたします。

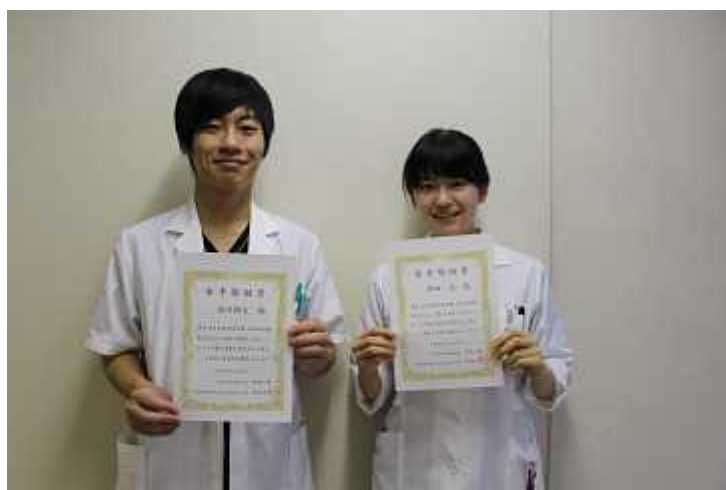


学会 受賞報告

内科地方会若手奨励賞をいただいて 1年次 北川幹太

演題：「悪性リンパ腫との鑑別を要し化学療法せずに軽快した加齢性 EBV 関連リンパ増殖性疾患」

この度、2016年10月に行われた日本内科学会第139回信越地方会において若手症例賞という賞を賜り、非常に嬉しく思っています。6月から2ヶ月にわたって血液内科で研修させていただいておりましたが、今回の症例も含めて患者さんの病態は非常に複雑で準備中は毎日頭を抱えておりました。しかしながら血液内科の先生方には予演会において貴重なご意見をたくさんいただき、当日も慌てずに発表することができました。特に廣島先生、貝梅先生には参考文献の探し方、スライドの構成、考察など右も左も分からない私に前日までご指導いただきました。研修1年目でこのような学会発表という貴重な経験をさせていただいたこと、血液内科の先生方と病気と最後まで戦い続けた患者さんに心より感謝申し上げます。今回学んだことを次に生かし、より良い発表ができるよう精進していきたくと思います。ありがとうございました。



< 北川幹太 ・ 師田 悠 >

内科地方会若手奨励賞をいただいて 1年次 師田 悠

演題：「低カルシウム血症を契機に Di George 症候群の確定診断に至った 30 歳男性の 1 例」

昨年の 10 月に開催された内科地方学会にて僭越ながら若手奨励賞を頂くことができました。初めての学会発表ということもあり、スライド作成から学会発表当日の何から何まで丁寧にご指導いただきました。糖尿病・内分泌内科の先生方に心より感謝致します。

学会発表にあたり、症例の病態や経過を考察し文献を検索していく過程から学ぶものは多く、自分が経験した症例を文書として形に残すことの大切さを感じました。日々、目の前のことで精一杯になりがちではありますが、自分の経験したことを振り返りまとめていく時間を作っていきたいと思いました。

今回の受賞に恥じないようこれからも自分にできることを 1 つ 1 つ確実に、そして研修期間中に少しでも成長していけるよう日々精進していきたくと思います。この度は誠にありがとうございました。



初期研修修了者が選んだ「最優秀指導医・部門賞」

初期研修修了者より、「2年間の研修で良いと思った指導医・部門」の投票を行った結果、昨年につづき、金児泰明先生と総合診療科が最優秀賞に選ばれました。



研修医症例発表会 優秀者へ院長賞贈呈！

平成29年1月25日に2年次研修医、3月8日に1年次研修医による症例発表会が開催されました。2年次は成長が覗え、1年次も堂々とした発表を披露しました。優秀者に選ばれた3名には院長賞が贈られました。



★院長賞 受賞者★

2年次研修医 : 板垣 惟
1年次研修医 : 北川 幹太
久保田 諭史



研修会情報

今年度も様々な研修会が開催され、多くの研修医が参加しました。



6/28 シミュレーション研修

11/12 Dr プランチ ケースカンファレンス



1/5 マツケンカンファ

研修医修了式を挙行了しました



平成 27 年度採用初期研修医 15 名（当院採用者 13 名・信大病院採用者 2 名）、平成 28 年度採用
歯科初期研修医 1 名が無事に初期研修を修了することができました。3 月 24 日（金）に修了式を
行い、吉岡院長からの修了証授与につづき、修了者から研修の感想、今後の抱負など述べられました。
4 月から、それぞれの道に進まれるみなさんの今後のご活躍を祈念します。

<修了者> ・ 修了者氏名、後期研修先・診療科

- ・ 有賀 文香 信州大学医学部附属病院 第二内科 腎臓内科
- ・ 板垣 惟 信州大学医学部附属病院 循環器内科
- ・ 上野 秀太郎 信州大学医学部附属病院 第二内科 消化器内科
- ・ 内山 晴香 信州大学医学部附属病院 麻酔科
- ・ 笠松 広嗣 信州大学医学部附属病院 眼科
- ・ 小林 浩幸 信州大学医学部附属病院 第二内科 消化器内科
- ・ 高橋 葵 信州大学医学部附属病院 救急科
- ・ 田中 駿ノ介 信州大学医学部附属病院 第一内科
- ・ 中野 祐太 虎の門病院 外科
- ・ 那須野 将 信州大学医学部附属病院 小児科
- ・ 松本 侑樹 長野赤十字病院 泌尿器科（信州大学 泌尿器科入局）
- ・ 柳澤 匠 信州大学医学部附属病院 第二内科 消化器内科
- ・ 渡辺 祐哉 日立健診センター 産業医
- ・ 鎌倉 雅人 信州大学医学部附属病院 第二内科 消化器内科
- ・ 増子 真嗣 信州大学医学部附属病院 第三内科
- ・ 歯科：宮島 史 長野赤十字病院 歯科口腔外科

<修了者代表 渡辺祐哉>

2 年間、大変お世話になりました。医療の事も社会の
事も何も知らない私たちに、イチから優しく、時に厳し
く教えて下さり、本当に勉強になりました。研修医を教
育しようとする姿勢は日赤に研修医が集まってくる魅力
になると思います。今後來る方にも温かい目で見守っ
てあげてください。また機会がありましたらお会い出来た
ら幸いです。ありがとうございました。



臨床研修の理念

人道、博愛、奉仕の赤十字精神のもと、医療チームの一員として患者中心の医療を実践し、将来の専門にかかわらず幅広い疾患・病態に対応できるプライマリ・ケアの診療能力を身につける。

臨床研修の基本方針

1. 患者、家族に共感し、十分なインフォームド・コンセントのもとに、守秘義務に配慮した医療を行うことができる。
2. 医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士などの多職種や地域の医療機関と協調した医療を行うことができる。
3. 基本的な知識、診療能力の研鑽に励み、進歩する医学知識を習得して、社会状況に合致した医療を行うことができる。
4. 医療事故防止対策や院内感染対策などを理解して、チームの一員として安全な医療を行うことができる。
5. 院内外の研修会、学術集会に主体的に参加して症例提示や討論に参加できる。
6. 医療福祉や医療保険制度を理解し、入院から退院まで患者、家族の社会生活に配慮した医療を行うことができる。

発行 長野赤十字病院 臨床研修センター

〒380-8582 長野市若里 5-22-1 TEL026-226-4131 (医師業務支援課 臨床研修係)

E-mail : kennsyuui@nagano-med.jrc.or.jp web : <http://www.nagano-med.jrc.or.jp/>